

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年9月24日 No.46

放送委員会



長寿命化改修工事により生まれ変わった放送室。放送機器も新しくなり、放送委員会の子どもたちが給食時の放送など、一生懸命頑張っています。

先日、こんなことがありました。給食の時間、放送室前には二人分の上靴が脱いでありました。放送室入り口の「放送中」のランプが光っており、二人が活動しているようでした。そこへ、さらに6年生の放送委員の二人の子が来たのですが、中にいる二人の上靴が乱雑に脱いであったため自分のものはもちろん、先の二人の分もきれいに揃えて中に入っていました。左上はその時の写真です。

誰も見ていないところ（私は離れたところにいましたが）で、このような行動が自然にできること、本当に嬉しく思います。放送委員の二人には近づいていき、お礼を言いました。

長寿命化改修工事の関係で、工事の方が校内の改修現場に入る時に、入り口で靴を変えて入られることがあります。入り口前に靴が脱いでいるのですが、その様子は放送室前と違い、少し残念なことになってい

ます。今回の二人の行動を見て、私たち大人が子どもたちの手本にならないといけない、そんなことを改めて感じました。

2年生おもちゃづくり



ゴムの力、風の力などを利用して、飛ばしたり、走らせたりするおもちゃなど、よく考えて作っていました。ごみ袋ほどの大きな袋に、一生懸命息を吹き込み、膨らんだ袋を身体全体を使って一気に押しつぶすようにして、大きな力を生み出して飛ばそうとしている子（写真左）もいました。今後の展開が楽しみです。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年9月26日 No.47

認知症講座（3年生）



3年生が認知症とその対応について学習しました。講師の一人は「ペッパーくん」で、子どもたちは大喜びでした。

子どもたちにとってはやや難しい話ですが、認知症の方は「怒りやすい」というイメージがあります。これは、認知症の方が、「何度も同じことを言う」ことがあるのですが、本人は同じことを何回も言っているという意識は全くありません。なので、対応する方が、「同じことを何度も言って！」という対応や態度をとると、怒れてしまうということなどを教えていただきました。

今回の講座を受け、子どもたちは、「認知症サポーター」となりました。認知症の方と接する機会があれば、学んだことを生かしてほしいと思います。



修学旅行

28日から6年生は一泊二日で修学旅行に行ってきます。今年度のテーマは、「**感団挑上～持ち帰ろう 学びと絆と思い出を～**」です。一人一人が確かにそんな修学旅行にすることができた、そう実感できる修学旅行になればと思います。修学旅行の様子については今後、この紙面でお知らせします。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年10月2日 No.48

修学旅行「感団挑上～持ち帰ろう 学びと絆と思い出を～」



思い出多い修学旅行になりました。天候にも恵まれ、しかも例年に比べると混雑することもなく余裕をもって見学することができました。ただ、初めての子どもたちにとっては「人がいっぱい」と感じたかもしれません。

今回は奈良での様子を一部ですが写真で紹介します。日本最古の木造建築である法隆寺、東大寺南大門や大仏などを見学し、多くのシカたちと交流しました。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年10月3日 No.49

修学旅行「感団挑上～持ち帰ろう 学びと絆と思い出を～」②



宿での夕食。部屋食でしたので、リラックスした雰囲気の中で食べていました。続いて芸能鑑賞。舞妓さんに来ていただき、踊りを見せていただきました。来ていただいた方は19歳だそうです。早い方は中学校を卒業したらこの世界に入る方もいること、舞妓さんは携帯電話を使用してはならないこと、置屋のお母さんにお世話になっているため給料はなく、お小遣いをもらっていることなどを聞き、驚きの声が上がっていました。



朝食は全員、同じ会場でいただきました。朝から食欲旺盛でおかわりをもらっている子もたくさんいました。



2日目は、二条城、金閣寺を見学しました。二条城ではうぐいす張りの廊下を体験し、金閣寺ではまばゆい金色に見とれてしまいました。例年に比べると驚くほど空いており、余裕をもって見学できました。次は嵐山に向かいます。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年10月6日 No.50

修学旅行「感団挑上～持ち帰ろう 学びと絆と思い出を～」最終号



金閣寺を出発する直前に四つ葉のヤサカタクシー（次頁上から3段目右の写真）を目撃しました。ヤサカタクシー約1400台のうちわずか4台だそうで、この修学旅行がよい修学旅行となることを確信しました。嵐山での昼食では一人一人IHコンロでうどんや肉、野菜を温め、おいしくいただきました。食事の後は買い物です。堅い八つ橋と生八つ橋を手にして、「おじいちゃんは歯が弱いから生…、でもお年寄りはせんべいが好きだからどうしよう」と話してくれた子もいました。このようにお土産も真剣に選んでいる姿が見られました。



最後にこの7枚の写真を見てください。部屋の前にはスリッパが整頓されて置かれていました。当初揃っていない部屋もありましたが、気づいた子が直していたり、周囲に声をかけて揃えていたりする様子が見られました。

また、奈良での昼食後、テーブルごとに食器を集められている様子が見られました。カツカレーはおいしくて最高でしたが、それ以上に、子どもたちのこのような姿が本当に最高でした。

誰かに言われたからではなく、状況を感じ取り、どうするとかよいかを自分で考えて実行する。このようなことができる6年生の子どもたち、将来、人生をたくましく生き抜く本当の力が着実に身についてきていることを感じます。そして、そのよ

うなよさは確実に後輩たちにも受け継がれていることも感じています。よい修学旅行になりました。準備はもちろん気持ちの面でも子どもたちを支えてくださり本当にありがとうございました。